

No. 74

2009

11月1日発行

萩の郷

発行者
下市田区
発行責任者
大沢 操
印刷
下市田・キタバヤシ印刷



萩の郷祭り



ふれあい広場

萩の郷はふれあいの里 「萩の郷祭り」「ふれあい広場」 盛大に開催！

不安定な天気で、屋外での開催が危ぶまれた七月二十五日「萩の郷祭り」が開催されました。

多くの区民の皆様にご参加をいただき、各区の踊りが賑やかに踊られ、お楽しみコーナーも繁盛し、楽しい一時を過ごしました。

又、秋晴れの十月十八日文化祭り、萩の郷ふれあい広場が開催され、芸術の秋にふさわしく三百点以上の力作、傑作が並びました。

お祝いの式の後、舞台上では十五グループが日頃の練習の成果を、多数のご招待者を前に熱演していただきました。

この二大イベントは区民の皆様益々愛されていき、下市田区の発展につながるよう多くの方の参加を期待します。

区の情勢について

区長 大沢 操

今年度も六カ月を経過し、区民皆様のご理解とご協力により、諸事業が順調に進捗しており、感謝申し上げます。

本年度計画の道路雨水対策工事、道路舗装工事、用水路地元施工工事、通学路安全対策としてフェンス設置工事、カーブミラー設置等完了いたしました。

コミュニティ事業としては、萩の郷夏祭りに区民多数の参加をいただき、盛



では、萩の郷夏祭りに区民多数の参加をいただき、盛

大に実施できました。これから萩の郷文

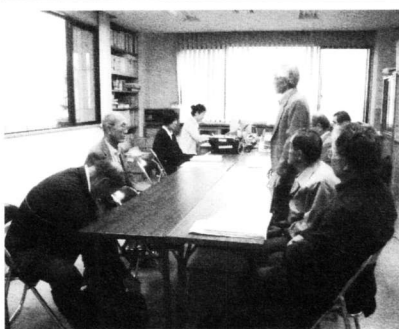
中間監査報告

監査委員長 中村 實

去る十月二十二日に中間の監査を行いました。

今迄の慣習にとらわれず、事前に決算書を提出して頂き、概略を把握して当日に臨みました。監査目標として収入関係の各帳票の精査、預金通帳残高の確認、特殊区費の収入状況に主眼をおきました。一般区費については自治会毎に戸数と収入額の確認を行い正確に処理されていた。独立世帯など特殊区費の徴収は未納者もあり、区では大変苦労しているが一般区民との均平化のためにも、尚一層の努力が望まれます。

公民館及び神社も精査した結果、適正であると認めましたので、ここに報告申し上げます。



平成21年度 下市田区一般会計中間決算報告書

(自平成21年4月1日～至平成21年9月30日)

決算収入額 18,824,711円 決算支出額 12,903,148円 差引残高 5,921,563円

【収入の部】

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
1. 区 費	15,700,000	7,725,600	△ 7,974,400
2. 繰 入 金	1,084,000	0	△ 1,084,000
3. 町 支 出 金	6,600,000	5,280,020	△ 1,319,980
4. 財 産 収 入	1,200,000	153,350	△ 1,046,650
5. 地 元 負 担 金	670,000	177,145	△ 492,855
6. 消 防 義 務 金	2,000,000	1,790,000	△ 210,000
7. 諸 収 入 金	2,800,000	306,154	△ 2,493,846
8. 前 期 繰 越 金	3,392,442	3,392,442	0
収 入 合 計	33,446,442	18,824,711	△ 14,621,731

【支出の部】

△印減(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
1. 総 務 費	12,850,000	3,671,133	△ 9,178,867
2. 環 境 衛 生 費	870,000	0	△ 870,000
3. 林 務 費	830,000	65,955	△ 764,045
4. 土 木 費	3,163,000	969,970	△ 2,193,030
5. 水 利 費	9,000,000	5,637,500	△ 3,362,500
6. 防 災 費	2,430,000	1,058,590	△ 1,371,410
7. 公 民 館 費	3,000,000	1,500,000	△ 1,500,000
8. 予 備 費	1,303,442	0	△ 1,303,442
支 出 合 計	33,446,442	12,903,148	△ 20,543,294

平成21年度 高森町公民館下市田支館 中間決算報告書

(自平成21年4月1日～至平成21年9月30日)

決算収入額 1,888,199円 決算支出額 1,578,538円 差引残高 309,661円

【収入の部】

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
繰 越 金	243,000	243,315	315
繰 入 金	3,000,000	1,500,000	△ 1,500,000
補 助 金	370,000	100,000	△ 270,000
雑 収 入	1,000	44,884	43,884
収 入 合 計	3,614,000	1,888,199	△ 1,725,801

【支出の部】

△印減(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
総 務 費	1,930,000	754,953	△ 1,175,047
事 業 費	1,610,000	788,099	△ 821,901
広 報 費	10,000	1,286	△ 8,714
予 備 費	64,000	34,200	△ 29,800
支 出 合 計	3,614,000	1,578,538	△ 2,035,462



町議会議員 15名が決まる

任期満了による高森町議会議員一般選挙は七月十九日に投票が行われ、十五人の新議員の顔ぶれが決まった。内訳は現職十人、新人五人（内女性一人）。当日の有権者は一万六千四百四十人、投票率は73%で前回を3ポイント下回った。定数を一人上回る十六人が立候補し、五日間の激しい選挙戦が展開された。

当選された下市田区出身の四名の町議に抱負をお聞きしました。

新しく選出された 地元議員の抱負

(50音順)

町民と共に 変革の一步

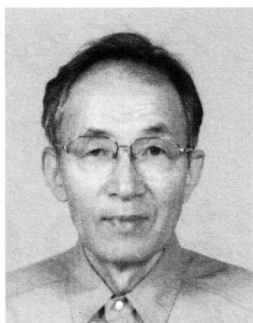
小島福夫（4区）



の町長であります。町の財政を考え、節約に努めながら、町民の皆様が安心して暮らせる町づくりを第一に考え、町民の皆様にも町政に関心を持っていただけるように、議員としてパイプ役となり、緑の自然環境と歴史や文化を守りながら、町政の繁栄のため努めて参ります。

九月議会を終えて

関島伸憲（3区）



今年度の二期目出馬にあたり、ご理解ご支援を頂き深く感謝いたします。また区民の皆様には大変お世話になりました。二期目に入り、頑張るつもりです。二期目により、頑張るつもりです。二期目により、頑張るつもりです。

人と人のふれあい 支え合いを大切に

福沢千恵子（5区）



私はこの議会で乳幼児のためのヒブワクチンの助成制度や新型インフルエンザは特に高齢者が併発し重篤化しやすいので肺炎球菌ワクチンの助成制度創設を要望しました。その中で町長から「ヒブワクチン任意接種の助成制度について新年度から作っていききたい」という答えを引き出しました。

一期目の経験を 生かして…

宮外正彦（6区）



七月の議員選におきましては大変お世話になりました。一期目の経験を生かして、明日の高森町の発展のために邁進して行く決意であります。

ました。誠にありがとうございます。選挙を通して多くの方が「年をとっても安心して暮らすことのできるまち」を望んでいることを強く感じました。

一人や二人暮らしの高齢者世帯が年々増加しています。風邪をひいて寝込んだり、買い物に行けなくなったり、どうしようも、元気なうちは苦にかけなかったことが、高齢になると大きな不安になります。そんな時に、一年生議員で勉強の毎日ですが、福祉の仕組づくりに取り組んでまいります。

は、年を重ねたことを受け止め、困った時は一人で解決しようと思わないで、身近所や知人に声を掛けてみませんか。みんなで支え合い、助け合って暮らし易い環境を築いていきましょう。

高森町・下市田は、まだ人と人のふれあい、支え合いの基盤ができていると感じています。

一年生議員で勉強の毎日ですが、福祉の仕組づくりに取り組んでまいります。

あります。中学校建設も来年度に迫って来ましたが、木の香る学び舎の完成に向けて提案して参ります。高齢者社会の到来が現実となってきた昨今の情勢から、お年寄りの方々、障害者を持つ方々が生き甲斐を持って暮らして行ける町づくり、コミュニティ造りに取り組んで行く必要があります。

生涯健康、生涯学習、生涯スポーツを柱として、お年寄りにやさしさを、青年に希望を、子供達に夢を、基本に人間尊重の町づくりを進めていかなければならないと考えます。

最後に区民の皆様のご健勝と更なるご繁栄を心より祈って終りと致します。

秋祭りを済ませて

氏子総代 中塚 昭美

した。

神社裏山の
高台のこんも

一面黄金色をしていた田も秋祭りを終えると同時に稲架に一変し、現在はずっかり元の耕田に戻る景色になってきました。これも毎年、季節の移り変りで年月の過ぎ去る早さを感じられます。今年も残り二ヶ月となり、農家の方々は尚一層忙しくなる時期に入ります。

「史跡 御射山」

松岡城主が諏訪下社の行事に準じ催事を行った遺跡である。古く鎌倉時代からと推測されているがさだかではない。」

さて、今年の秋の祭りも無事終りました。丁度何年ぶりかの連休と好天に恵まれ、お出掛けの方々があつたのか、一寸寂しい感じがりましたが宵祭には可愛

い赤ちゃんの初詣がありました。浦安の舞が奉納されました。我が娘、孫の晴姿を見ようと大勢の方が集って来ました。

又十月に入り八日の伊那谷を縦断した台風十八号による被害も最小限に治まりました。やはり先日行われた風祭の効果の表れかと思えます。氏子の皆さん末永く萩山神社を親しみ、参拝をして下さい。



今年も無事に!!

7月25日
萩の郷祭り

今年も七月二十五日(土)下市田区民広場にて萩の郷祭りが行われました。下市田区長・支館長を中心に役員一丸となり、この日の為に会議を重ね準備をして来ました。本番当日は朝から、今年の夏を象徴するような雲行き。天気予報では夕方から夜に向け雨予報でした。その中でも何とか屋外で行いたいと各分担の仕事を進めて行きました。テント張り、電気配線・音響の準備もほぼ終わりがけた頃、雨が降ってきました。それでも各青年会のお楽しみコーナーのテントでは、雨の中でも待ちきれない子ども達がお目当ての店に集まっていました。役員全員で早めの腹ごしらえを済ませる頃には本降りになり、インターネットで天気予報を確認しながら、支館長も悩む事態となりました。(このまま外で最後まで出るのか?撤収して屋内にするべきか?)お祭りの開始を前に決断が下り、屋外をあきらめ屋内に会場を移す指示がありました。

役員一同びしょ濡れの中、機材を区民会館に運ぶ事となり大急ぎで作業に取りかかりましたが、しかし、機材を搬入している途中で、あんなに降っていた雨が小降りになってきたのです。またまた支館長を悩ませますが、出来れば外でしたいという強い気持ちで再度屋外での開始決断となりました。何とか開始時間に間に合い、雨があがった広場では、自治会の皆さんも続々と集まり、区長・熊谷町長から挨拶を頂き、お祭りを無事開始する事が出来ました。

第一部では、勇壮な「紅華」の皆さんによる太鼓の演奏、第二部は「下市田保育園」「吉田河原保育園」の園児の皆さんによる愛くるしいダンス、第三部は「ブチエンジェル」の皆さんによる元気いっぱいダンス、第四部は各自自治会により各賞獲得に向け素晴らしい踊りを披露して頂きました。

第五部の「縄文の火おこし、子供花火大会」は火おこしした火種からの点火です。しかし、雨の影響で湿った空気の中かなりの時間がかり一同心配しました。しかし、何とか火種がおき、子供達も花火を楽しむ事が出来ました。そして最後には全員で盆踊りを楽しみ、お祭りを終える事となりました。

こうして今年も、無事下市田区の大きな行事の一つである「萩の郷祭り」を終える事が出来ました。苦勞した分、役員にとっては思ひ出のお祭りとなりました。最後になりましたが、このお祭りにご協力頂いた全ての関係者の方々に心から感謝申し上げます。来年は暑い夏になりますように。

熊谷 記





平成21年度 下市田文化祭り 萩の郷ふれあい広場



盛況だった 文化祭り

十月十七・十八日、文化祭りが開催されました。展示品は、グループや個人と多くの方が出展され、盆栽・陶芸・皮のバック・手芸・書・水墨画・美人画・油絵・写真・大きなパッチワーク等、力作ぞろいでした。また、史談会・古文書研究会の絵図面等も展示されていました。

十八日には茶道クラブによるお抹茶の接待があり、ふくよかな味わいに、もう一服おかわりをいただいたかと思われました。参加していただいたみな様ありがとうございました。



パワー全開

萩の郷

ふれあい広場

十月十八日、下市田区内の七十五歳以上の百六十二名の方々に出席頂き、萩の郷ふれあい広場を開催しました。

長寿表彰では「喜寿三十八名、米寿二十一名、卒寿以上六十二名、合計百二十一名」の方が表彰されました。今後も、ますますの元気をお祈り申し上げます。



ステージ発表では、保育園から九十二歳になられる北原松江さんまで趣向をこらしたステージに、手拍子や一緒に歌ったり、踊ったりとみなさんなごやかに楽しむことができました。



消防ふれあい広場

「誇りある消防団をめざして」

高森町消防団第一分団

昨年からはじまった「消防ふれあい広場」ですが、消防団の行事が多く、出来るだけ簡素化したい中、引受けるか大変迷いました。しかしこのような行事を通じ、地域の方と触れ合う事が、我々団員の「やりがい・誇り」となることや、地域の方へのイメージアップ、また団員確保に繋がる大切な場と位置づけ、今年も奮いたって行うこととしました。

今年の内容は、①小型ポンプによる消火実演、②消防車との写真撮影、③水消火器での消火体験、④無線体験、⑤消防自動車乗車体験、⑥消防車との綱引き、⑦非常食の試食体験など、出来るだけ消防器具と触れ合う事の出来る場を多く取り入れました。



最後にありますが、火事や災害はいつ起こるか分かりません。その時消防団は地域の方と共に活動して行きたいと思っています。

今回もこのような機会を設けて頂いた公民館下市田支館の皆さんに感謝申し上げます。

下市田のみなさん こんにちわ

三区出身 上沼克徳

(横浜市在住)

この年齢(五十八歳)になつて、「下市田のみなさん、こんにちわ」と言うのも気恥ずかしいですが、執筆依頼されるままに、ごあいさつ文を書かせていただきます。

ところで、この稿を書き

思えば四十年前、高校卒業と同時に進学のため上京し、現在は神奈川大学教授の職にあります。専門はマーケティング論です。その間、米国シカゴの大学へ二ヶ年間の在外研究。二〇〇二年博士學位取得(商学、早稲田大学)、というのが世間向け私の経歴です。

また、家族は妻(東京都小学校教諭、鼎出身)、子供二人、義母(横浜市施設



上沼澤子さんの
長男

馬燈のように思い出されます。私の原点は下市田にあるのです。この十一月には、アパート裏の道路際にミラーを取付けに下市田に戻ります。改めてよろしくお願い申し上げます。

三区

入園)と下市田の母の構成です。そして、父の

死後、長男である私が下市田の家を継ぐことになり、また

近年アパート事業を始めたこともあり、年に四、五回

帰省します。いったん離れた故郷との距離が年々深まっ

て来ています。

下市田学校 応援隊に入っ

一区 吉田 正治

市田学校での自主活動を行う応援隊の募集が教育委員会の呼びかけであり、

即、応募しました。

私の家のすぐそばに下市田学校という町の有形文化財があり、朝な夕なにこの郷土の誇りである校舎を眺めています。

今年の三月に、下市田学校校舎の修繕工事が完了し、一般公開をきっかけに、下市田学校校舎を将来に伝えていくための簡単な補修作



しようない、
しようない

三区 清水 迪夫

よく孫はかわいいと聞いてはいたが、現職のときは、子育てはほとんどつれあいにまかせていたし、そんなもんかなあくらいにしか思っていなかった。

それが今、孫の面倒をみるのが現実になった。彼のひとつひとつの動作がじつにかわいい。「純真無垢」という言葉がぴったりなのである。

「三つ子の魂百まで」と

業、ここで開催する各種講座の企画・運営の補助、その他下

市田学校での自主活動を行う応援隊の募集が教育委員会の呼びかけであり、

即、応募しました。

当初は五名位の参加でした。手始めに二階の教室の窓に転落防止用の手摺りを取り付ける作業をし、その教室を使って原始体験教室が開催されました。

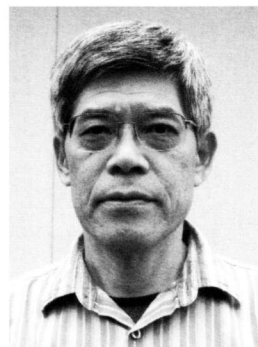
さらに、校舎内には教室が幾部屋もあり、それを日常的に有効に活用できるアイデアを皆で話し合い、結果高齢

いう。幼い時の性格は、年をとっても変わらないということ

で、自分流に解釈して、三歳までは全身で包むようにかわいがれということだと思っている。そのあとは人としての礼儀作法、

「しつけ」いき、他人に迷惑をかけない生き方を教えていくということであろう。それは同時に「純真無垢」から脱皮して、人を愛すること、憎むことなどいろいろの感情・気持ち覚え、大人になっっていく。

「三つ子の魂百まで」と



者はもとより、地域の人達が日常的に集え、お茶を飲

みながら世代間の垣根を越えて会話を交わし、この古き良き文化遺産の中で、豊かなひとときが過ごせる空間に出来ないかを、具体的に考えて、実践していくことになりました。

第一回は、ここを拠点に活動している陶芸クラブの方々と関係者に陶芸作品を出品していただき、展示と即売を兼ね「ふれあい陶器市」を開催しました。ここに集ってくださった皆様に美味しいお茶を提供し、憩える場としての役割を少し果たせたと思っています。

第二回は「おいでてや寄席」を企画し、現在倍位に増えた応援隊で実現に向けて取り組み中です。皆様のおいでを待ちしています。併せて一緒に活動してくださる応援隊員も募集中です。

定年になったらあれもやろう、これもやろうと思っていた自分の最後の設計にブレーキがかかってしまったが、いると神経がやすまらない「緊張感」(なぜか、またすぐに味わいたくなる)、いなくなるとほっとする「疲労感」、ストレスを忘れさせてくれる「安らぎ」をあたえてくれる孫、息子夫婦に感謝している。三歳までの「かわいがり」は、やらせてもらっても、そのあとの「しつけ」は親がやればいいと、その責任のなさを、気楽さが又いい。

あゝ壁に落書きしている、



春つらら

宝探しの たのしけり

南小へ転校して

小六 服部花菜(四区)

機した後、体育館の一番後ろで参加した始業式。

私は四月に松本から高森町に引っ越してきました。松本での小学校生活に慣れていたため六年生での転校は、とても不安でした。

転校の初日、図書館で待

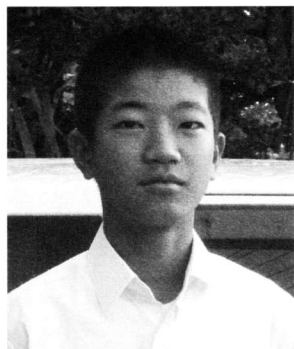
わたしの作文
ぼくの作文

線を一気に浴び、必要以上に何度もお辞儀している自分がいました。緊張して何が何だか分かりませんでした。ふわふわした気持ちで自分の座席に着きましたが、朝の会が終わるとたくさん女の子が集まってきてくれました。「分からないことあったら何でも聞いてね。」明日から一緒に遊ぼう。」

野球部に入部して

中一 小林拓真(五区)

僕は中学に入部して野球部に入りました。何故なら僕は野球が好きで、小学四年から南小野球少年団に入りずっと野球をしてきました。それに去年、高森中の野球部はいろんな大会で勝ち、大活躍して、最後には中部日本大会に出場し名古屋



六月に中体連も終わりで三年生が引退し、僕達もやっとグラウンドで練習ができる様になり、一年の代表である僕は、新キャプテンに「今日の練習は何をするんですか？」と聞くと、「しばらく掃除

だ」と言われ、「走りの次は掃除かよ」と思い、他の部は活動しているのに、どうして自分達だけが掃除なんだ？と思った事もありましたが、掃除もばかにできませんでした。黙ってきくとすると一生懸命になり、集中力がついた気がします。今はグラウンドでの練習も始まり、最初の頃の気持ち忘れずに、これから練習や試合に勝てるように、自分でも努力して、頑張っていきたいです。



などと声をかけてくれたことは今でも忘れられません。五月もまだドキドキの連続でこの新しい学校に通っていることですら信じられない気持ちでしたが、この学校で学んでいるという実感がわき、クラスでの生活が本当に楽しいと感じられる大きな行事がありました。それは音楽会です。六月中

句から練習を始め、同じ楽器やパートの人と話す時間がとても充実していました。目標をもってみんなで活動するこの行事は団結を生み、感動を残してくれました。先日の修学旅行も、台風の影響を受けましたが、楽しい思い出を作れたことは幸運なことです。転校という経験は、想像以上に辛いこともありましたが、こうして友達や先生方に支えていただきながら、すっかり高森南小学校に溶け込めるようになってきました。この学校で多くの人からいただいた優しさに感謝したいと思います。

地域の紹介

変わりゆく出砂原と抱える問題

六区自治会長

野神昭三

かつて高森町の玄関と言われ、町内唯一の商店街として栄えたこの地域も、時代の流れ、移りで大きく変わって来た。特に三十六年の大災害、天竜社が撤退し、交通機関も電車・路線バスから乗用車へと変わり、当然人の流れも減少と合せて店主の高齢化、坂の町、駐車場不足と悪条件の中、閉店を余儀なくされて来た。しかし厚生連病院が出来、平成八年には明神橋も新しく架替えられて、新しい町づくりの活力となるかと期待されたが、その後も益々空き家と空き地が目立つ現状です。

こんな中、十月四日北部農免道路が開通し、これが国道のバイパス化となり、ここ出砂原が通過点の一角として市田駅踏切、明神橋の交差点の安全対策が大きな問題となって来た。こうした現状の中ですが、出砂原を紹介するにはやはり八月十八日のお祭り、灯籠流しと大煙火大会を忘れる事は出来ません。下伊那地方の夏の最後を締めくくる風物詩となっていて、今年は特に世



8月19日灯籠流し清掃活動に参加した中学生

こうした現状の中ですが、出砂原を紹介するにはやはり八月十八日のお祭り、灯籠流しと大煙火大会を忘れる事は出来ません。下伊那地方の夏の最後を締めくくる風物詩となっていて、今年は特に世

今後一層の協力を願います。地域の紹介と致します。

代議員会親睦旅行 能登半島へ

下市田代議員会は九月二・三日能登半島へ親睦バス旅行に出掛けました。

一日目は中央道・東海北陸道経由で、最初の目的地日本三大民謡又水のかみちで有名な岐阜県郡上八幡を散策し、白川郷へと向かいました。白川郷では黄金色の稲穂と合掌作りの風景に堪能し、昼食をとりました。

昼食後は加賀藩二代前田利長公の菩提を弔う瑞龍寺へ行き、国宝の仏殿又重要文化財の総門等見学。宿泊地の和倉温泉へと向かいました。和倉到着迄は時間があり、車中では小宴会も始まり会話に弾む楽しい光景もみられた。宿に到着し休憩した後温泉でゆっくり



白川郷にて

れをとり宴会時間を待った。大沢区長の挨拶で宴会が始まり、アルコールが入るにつれ会場の雰囲気も一段と盛り上がりカラオケ、又手品も披露され、楽しい一時を過ごすことが出来ました。

翌日は輪島の朝市で買い物をし、小ささまざまな田んぼが並ぶ千枚田へ立ち寄り、最後の見学地上時国家の豪壮巨大な屋敷を見学して、昼食をとった後千里浜ドライブウェイ、北陸・東海北陸・中央道経由で帰宅しました。

委員会活動報告

環境衛生委員長 鈴木政男

して下さい。

環境衛生委員

環境衛生委員会としては四月より区民の皆様方には資源・ゴミの分別には大変お世話様になっています。

燃やすゴミ

毎週 月・水・金曜日

プラスチック

毎月 第一・三水曜日

資源・埋立てゴミ

毎月 第一日曜日

環境衛生委員立会い

環境の日(ゴミゼロ)

五月十日 立会い

資源ゴミについては、四月より学校資源回収が廃止

になり毎月の資源・埋立て

ゴミと一緒に収集します。

新聞とチラシ・雑誌と紙

類・封筒(フレコンバック)

にダンボールは収集しやすい

ように縛って出す。汚れの

落とせる物は洗って落と

り、最後の見学地上時国家の豪壮巨大な屋敷を見学して、昼食をとった後千里浜ドライブウェイ、北陸・東海北陸・中央道経由で帰宅しました。

二日間の旅行を通じ、当初の目的である親睦が十分達成でき、有意義な旅行でありました。

一区副自治会長 近藤斌彦

鈴木政男

環境衛生委員

一区 木下 聡・林 正彦

二区 北沢 啓一

三区 北沢 治・酒井隆司

四区 市沢 茂・新井保登

五区 小島勝彦

六区 木村宗高・小島重剛

七区 鈴木政男・牧内正志

八区 今村隆志・北原 鎮

環境保全は、資源の有効

活用にご協力をお願いします。



地元施設の紹介

今回より下市田区内の施設をシリーズで紹介します。



今回より下市田区内の施設をシリーズで紹介します。

南信地域は地形や気象が変化に富み、栽培される農作物の種類も多様・多岐にわたります。そこで、現在

当場では、このような地域の特性を活かすことができ「オリジナル品種の開発」、「安定生産技術、安全性の高い生産技術の開発」、「低コスト技術・省力化技術の開発」、「環境にやさしい農業技術の開発」、「地球温暖化対策技術の開発」の五本柱を業務目標に掲げ、地域組織と連携して日々試験研究に取り組んでいます。

当場では、毎年十月上旬から中旬頃に、試験場の一般公開を行っています。研究内容や研究成果についてもっと詳しく知りたいと思われ方は、是非ともお気軽にお越し下さい。



花の栽培試験、土壌肥料に

車椅子購入

車椅子購入目的で昨年十一月から収集してきたアルミ缶は、今年九月末で560kg二〇、四七五円になりました。公民館から若干補助して車椅子一台を購入し、区民会館に配備いたしました。必要な方は区民会館内で自由にご利用ください。これまでの皆様方のご協力に感謝申し上げます。



編集後記

今号から地元施設の紹介を始めました。外形や名称など知っていても具体的な内容までは日頃余り気にかけないものです。区内施設の再発見の一助になれば幸いです。そして、地元として施設の活動と連携が図られたい応援できれば、地域の発展にもつながっていくものと思います。